



山市区づくり推進事業助成申込書

(地域活動部門)

平成31年1月14日

岡山市長 大森雅夫 様

フリガナ ヒラジマケンコウフクシイインカイ

団体名 平島健康福祉委員会

所在地

連絡先

フリガナ

代表者

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名称	平島・元気で輝き事業
事業実施小学校区・地区	平島小学校区
事業実施回数	新規 ・ <u>継続</u> 4 回目 / 【 28 年度から】
課題	平島学区において今後急激に進むことが予想される超高齢社会の中で、高齢者が健康で自立した生活が送れるよう、自助・互助の考え方を理念に地域で支え合う仕組み作りを構築していく必要がある。平島小地域ケア会議において検討協議を重ねてきた結果、高齢者に関する課題解決の一つの方法として平成28年度より本事業を導入したものである。31年度も引き続き課題解決のため継続して実施していく。
事業の目的	平島学区に住む高齢者などの健康と福祉に寄与することを目的としている。本事業の遂行により結果として高齢者が少しでも健康で安心して過ごすことができ、且つ社会参加をして活躍できる地域づくりを目指す。

事業の内容	① <u>ちょっとした困りごとをお手伝いする“生活支援サービス”の実施</u> 既成の制度ではまかなえないようなちょっとした生活援助をHKFボランティア員が有償ボランティア方式（100円チケット券1枚で約15分間）によりサービスを提供するシステム。 ② <u>歩いて寄り合える場所“井戸端カフェ”2か所の運営</u> 井戸端カフェ東平島は第2土曜日、井戸端カフェ南古都は第4土曜日、いずれも10時～12時で開催。誰でも気軽に立ち寄り、談笑や体操、歌、ゲームなどを通して元気になってもらう。 ③ <u>“HKF研修会”及び新規“ふれあいサッタデイ”の開催</u> HKF研修会は健康についての学びの場であると同時に医療や介護の制度について理解するための場でもある。また心身の機能向上のための脳トレやストレッチ体操などを行いながら年4回開催。今年度は更に三世代が交流できる場“ふれあいサッタデイ”を年2回開催の予定。 ④ <u>“HKFニュース”の定期発行</u> 地域イベントや耳より情報などを掲載したニュースを年4回全戸に配布。 ⑤ <u>平島小地域ケア会議の企画運営</u> 学区内の高齢者の課題について話し合う場である。地域の関係団体の主要メンバー30名で構成され平成22年に立ち上げ3か月毎に開催し今年で44回になる。
期待される成果・目標	・各事業の推進により“支え合いのまちづくり”が少しでも実現することで、住民の皆さんに安心して住める地域だと実感して住み続けてもらうことができる。また、コミュニティの促進と介護予防が図られることで、結果、健康寿命を延ばすことも期待できる。そしてこの活動を続けて行くことによって自助・互助の理念が地域に浸透し、地域住民のつながりをさらに深めていくことができる。 ・最終目標は一人でも多くの方が“元気で輝き”ながら、地域とつながり社会参加や活動が出来ることであり、その環境を少しずつでも作っていくことである。
企画などの工夫	・HKF 研修会の開催については、昨年度より平島コミュニティだけでの開催ではなく単一町内会の公会堂へも出前研修を実施。想像以上に好評だったため今年度も継続開催の予定。 ・昨年、豪雨被害のため実現できなかった新企画の“ふれあいサッタデイ”を今年度は年2回開催し三世代交流の場づくりにチャレンジをする予定。 ・平島小地域ケア会議では“事例を通して課題解決のための具体的対応方法を学ぶ”に重点を置き取り組む。 ・平島学区連合町内会及び平島学区安全安心ネットワークと密に連携をとりながら更に幅広く地域の情報を入手し HKF ニュース内容の充実を図る。 ・公民館と連携し“地域応援人づくり講座～上道でいつまでも元気で暮らしたい～”の活動を積極的に支援していくことで上道学区内にあるボランティア団体の交流を図る。
協働する団体等	・平島栄養改善協議会：昨年度より健康福祉研修会や井戸端カフェの開催時に協働企画を実施した結果好評のため今年度も新たな企画で協働開催の予定。 ・平島安全安心ネットワーク（連合町内会、コミュニティ協議会、体協、連合老人クラブ、幼稚園 PTA、小学校 PTA、子育て広場）及び平島学区小地域ケア会議の構成メンバー：新企画“ふれあいサッタデイ”の実現のために運営委員会を立ち上げ開催の実現に向けチャレンジの予定。

事業の 情報公開	・つながる広場や市民の広場への投稿。 ・各町内会、地域センターや公民館、その他地域の金融機関や商業店舗へのポスター掲示。 ・HKF ニュースの全戸配布。 ・今後、平島型地域包括ケアシステムを構築することができれば、インターネット上でホームページを開設し情報を公開していきたい。
学区 地区 への 広がり	平島小学校校区から上道中学校校区への活動の広がりのために ・上道公民館が主催する“地域応援人づくり講座”に2年前より協働して支援活動を行って来ているがその効果が徐々に出来ている。二つの小学校校区で生活支援サービス導入の動きがあること。更に移動支援サービスの導入を検討し始めたところも出て来ている。 ・平成31年度は“元気！わくわく！フェスタ in 上道”の開催を通じて各地域でボランティア活動をされている人たちとの交流の場を作っていくことでネットワークの輪が更に広がる。 ・若い世代にも本事業を知ってもらうため上道中学校の生徒へのボランティア活動参加要請の働きかけを行っていく。
前年度 からの 見直し 拡充点	昨年度は何といっても豪雨災害による被災の影響がすべてであった。集いの場の浸水や会の登録メンバー自身の被災したことで7月から11月までの間は事業中止状態であった。しかしながら頑張って井戸端カフェ東平島は休まずにオープン、また井戸端カフェ南古都についても9月からオープンすることができたことは救いであった。災害時の際に計画事業には無かったがHKFとして実際に行った災害ボランティア活動は今後活かせる貴重な体験となった。今はまだ被災した住民が復興に向けて苦難の日々が続いており、そのような状況の中でHKFとしては今年度は先ず今まで通りの計画が無理なく実施できるよう努力したい。そして地域の高齢者が少しでも笑顔を取り戻し元気になれるようHKF活動も笑顔で頑張っていきたいと考えている。見直し点は昨年計画してできなかった“ふれあいサッタデイ”の計画内容を変更してチャレンジし実現させることである。
次年度 以降の 予定	① 次年度以後の活動計画 これまで進めている5事業はそのまま継続しながら平島健康福祉研修会のステップアップ企画“ふれあい・サッタデイ”の実現をして軌道に乗せて行くこと。 ②資金の確保について ☒次年度も区づくり推進事業を申請する予定 ☐（3）年後には、自己資金を確保して地域の独自展開をしていきたい。 資金確保の具体的な方策：生活支援チケット券販売や参加費の徴収、地域の団体や企業協賛金、一般の各種助成システムの活用など。
その他 PR したい 点	特にありませんが提案です。 “おかやま協働のまちづくり賞”について過去にエントリーした団体のその後の活動状況についてもどうなっているのか良くわかりません。情報があると嬉しいですね。 市民に広く知られることやそこから学びたい人も大勢いると思うのでよろしくお願いいたします。

事業スケジュール

平成31年度・平島健康福祉委員会(HKF)活動予定

平成31年1月14日現在

月日	場所	内容/担当チーム
4月1日	全世帯配布	健康福祉ニュース12号発刊
4/1~4/30	平島学区	生活支援サービス(B班)
4月12日	さんさん平島	井戸端カフェ東平島(A班)
4月26日	平島コミュニティ	第45回小地域ケア会議
4月27日	旧木庭氏店舗跡	井戸端カフェ南古都(B班)/総会
5/1~5/31	平島学区	生活支援サービス(A班)
5月9日	鏡野町地域包括支援センター	視察研修
5月11日	さんさん平島	井戸端カフェ東平島(B班)
5月12日	平島小学校	安全安心ネットワーク祭・救護
5月25日	旧木庭氏店舗跡	井戸端カフェ南古都(A班)
6/1~6/30	平島学区	生活支援サービス(B班)
6月1日	平島コミュニティ	第24回平島健康福祉研修会/第1回ふれあいサッタデー
6月8日	さんさん平島	井戸端カフェ東平島(A班)
6月22日	旧木庭氏店舗跡	井戸端カフェ南古都(B班)/定例会
7月1日	全世帯配布	健康福祉ニュース13号発刊
7/1~7/31	平島学区	生活支援サービス(A班)
7月13日	さんさん平島	井戸端カフェ東平島(B班)
7月26日	平島コミュニティ	第46回小地域ケア会議
7月27日	旧木庭氏店舗跡	井戸端カフェ南古都(A班)
8/1~8/31	平島学区	生活支援サービス(B班)
8月10日	さんさん平島	井戸端カフェ東平島(A班)
8月17日	平島小学校	平島振興まつり・模擬店出店・救護
8月24日	旧木庭氏店舗跡	井戸端カフェ南古都(B班)/定例会
9/1~9/30	平島学区	生活支援サービス(A班)
9月7日	平島コミュニティ	第25回平島健康福祉研修会
9月14日	さんさん平島	井戸端カフェ東平島(B班)
9月15日	平島小学校	敬老会・救護
9月28日	旧木庭氏店舗跡	井戸端カフェ南古都(A班)
10月1日	全世帯配布	健康福祉ニュース14号発刊
10/1~10/31	平島学区	生活支援サービス(B班)
10月12日	さんさん平島	井戸端カフェ東平島(A班)
10月25日	平島コミュニティ	第47回小地域ケア会議
10月26日	旧木庭氏店舗跡	井戸端カフェ南古都(B班)/定例会
11/1~11/30	平島学区	生活支援サービス(A班)
11月9日	さんさん平島	井戸端カフェ東平島(B班)
11月23日	旧木庭氏店舗	井戸端カフェ南古都(A班)
11月23日	旧木庭氏店舗跡	井戸端カフェ南古都(A班)
12/1~12/31	平島学区	生活支援サービス(B班)
12月7日	平島コミュニティ	第26回平島健康福祉研修会/第2回ふれあいサッタデー
12月14日	さんさん平島	井戸端カフェ東平島(A班)
12月28日	旧木庭氏店舗跡	井戸端カフェ南古都(B班)/定例会
1月1日	全世帯配布	健康福祉ニュース15号発刊
1/1~1/31	平島学区	生活支援サービス(A班)
1月11日	さんさん平島	井戸端カフェ東平島(B班)
1月24日	平島コミュニティ	第48回小地域ケア会議
1月25日	旧木庭氏店舗跡	井戸端カフェ南古都(A班)
2/1~2/29	平島学区	生活支援サービス(B班)
2月8日	さんさん平島	井戸端カフェ東平島(A班)
2月22日	木庭氏店舗	井戸端カフェ南古都(B班)/定例会
3/1~3/31	平島学区	生活支援サービス(A班)
3月14日	平島コミュニティ	第27回平島健康福祉研修会/井戸端カフェ東平島
3月28日	旧木庭氏店舗跡	井戸端カフェ南古都(A班)

収 支 予 算 書(案)

◆収 入

単位:円

項 目	前年度決算(予定)	予 算	備 考
岡山市補助金	91250	147500	(100 円未満の端数切捨て)
実施団体負担金	54750	42500	会費
参加者負担金	20000	30000	サービスチケット代など
協賛金	50000	50000	平島振興事業推進協議会
寄付、他収入	25000	25000	平島健康福祉ニュース 広告協賛
計	241000	295000	

◆支 出

単位:円

項 目	前年度決算(予定)	予 算	備 考
印刷製本費	15000	30000	HKF ニュース、ポスター、 研修会資料
通信運搬費	60000	60000	携帯電話利用料金 HKF ニュース及び案内の郵 送代
謝礼金	12000	15000	研修会講師謝礼(6 回 分)
食料費	36000	40000	研修会及び井戸端カフェ水分補給用
会場使用料	20000	30000	平島コミュニティ 井戸端カフェ 2 か所
消耗品費	0	20000	支援員のユニフォーム代 (2000 円×5 人分)
保険料	18000	20000	支援員ボランティア保険 (1000 円×20 人)
視察研修費	80000	80000	バス代(50000 円)、入場 料(30000 円)
計	241000	295000	

◆概算交付の要否(いずれかに○をしてください)。(補助金額が20万円を超える場合のみ)

補助金の概算払いを	希望する	・	希望しない
-----------	------	---	-------

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください

希望することはできませんが、会としての手持ち金に余裕がありません。苦慮しています。

注①：前年度決算額が確定してない場合は、見込み額を記入してください。

注②：支出の費目は、消耗品費・食糧費・印刷製本費・旅費交通費・通信運搬費・謝礼金・会場使用料・保険料など適当な費目に分けて記入し、備考に積算内訳を記載してください。

※記入欄に書ききれないときは、別紙として添付してください。

平成31年1月14日